

学校教育目標	「つなぐれ 和泉っ子」 ～人と社会と未来の自分～ (知)学ぶ楽しさを味わい、粘り強く学び自ら解決する子を育てます。 (徳)思いやりをもち、互いに認め合う、心豊かな子を育てます。 (体)心と体を鍛え、自他の命や体を大切にする子を育てます。 (公)地域に学び、地域に親しみ、地域を大切にする子を育てます。 (開)社会への視野を広げ、進んで働きかけようとする子を育てます。				
	創立 55 周年	学校長 荒海 透	副校長 水野 亜紀	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 6
学校概要	児童生徒数: 397 人 主な関係校: 中和田中学校 中和田小学校 伊勢山小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーション能力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	中和田中 ブロック	自ら進んで学びに向かう児童生徒 互いの良さを認め合える児童生徒  ・各教科等における探究活動にICTを活用することで、児童生徒が主体的に学習に 取り組み、表現する力を育てる。 ・小中の授業交流では、子どもの姿をもとに協議を行い、小中の一貫教育を進め、 義務教育9年間で育てる児童生徒像を共有して共通目標の実現を図る。

中期 取組 目標	<p>○学校、家庭、地域がしっかりと手を結び、児童が安全、安心に過ごせる学校生活を過ごせる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の具現化を通して、基礎基本の定着を図ると共に、児童が学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、自己の思いを豊かに表現できる子を育てます。</li> <li>・道徳の学習や、まちと協働した学習に取り組み、豊かな心を育みます。</li> <li>・体育的行事に取り組みと共に、保健学習、食育を充実させることを通して健康的な身体を作ります。</li> <li>・学校・家庭・地域との「つながり」を大切にして、地域の中に生きる心豊かな子を育てます。</li> </ul>
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	①主体的で対話的な深い学びにつながる探究的な授業改善に努め、学習の基礎・基本の定着を図る。 ②資質・能力をテーマにした研修を重ね、本校の具体的な資質・能力系統表の作成や研究テーマを見直す。 ③タブレットを活用した授業改善に取り組み、思考力や情報活用能力の向上に努める。
担当 重点・AB研	
徳 豊かな心	①児童一人ひとりが安心して豊かに過ごせるように、道徳を要として教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進する。 ②中学校ブロック共通の取組の一つにある挨拶活動を児童会活動で取り組む。 ③異学年とのペア交流活動から、豊かな心を育む。
担当 児童支援・人権・道徳	
体 健やかな体	①運動の楽しさを感じる体育の授業改善と休み時間の外遊びの推進に取り組む。 ②食をテーマにした授業では、日々の生活につながる授業展開の工夫をする。また、食育の一斉授業研究会では、子どもが主体的に学ぶ授業作りに取り組む。
担当 体育・保健・食育	
公開 特別支援教育	①児童支援専任教諭を中心に、特別な支援を必要とする児童の実態把握に努め、全職員で情報を共有し適切な支援を行う。 ②年間を通した特別支援教室を実施していく。
担当 特別支援	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会を設置し定期的に開催し、児童の情報をすべての教職員が共有し、迅速かつ組織的な対応を行う。 ②年間通して、いじめアンケートやYPアンケートを実施する。また、日々の健康観察を行い、些細な変化を見逃さない体制づくりをする。
担当 児童指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①「チーム学校」という枠組で若手からベテランまでキャリア育成できるように、学年研の充実をもとにして多様な研修を積み重ねていく。 ②メンターチームを組織しミドルリーダーが講師となって月1回の活動を定期的に開催する。また、若手対象の授業研究や実践的な研修を行う。 ③時間外勤務時間の短縮を目指し、効率的な働き方に努める。
担当 教務	
保護者・地域との 連携	①地域協働本部と連携し、生活や総合の時間の学習、クラブ活動等においても、地域に学び地域の人々をつなぐりを深める。 ②PTA本部と連絡を密にし、今年度新たな体制となったPTA活動について検証し、より現状にあった活動へと改善を図る。 ③学校HPを通じて教育活動を積極的に発信し、保護者や地域の方々に教育活動に対する理解がより得られるように努める。
担当 教務	
担当	
担当	
担当	